

公民館だより

60.6
由良地区
公民館

御挨拶

梅雨にぬれた紫陽花が一際鮮やかな季節となりました。区民の皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、藤本秀雄先生の御退任に伴い、由良地区公民館審議会の御推薦により、因らざる館長をお受けすることになりました。

長年に亘り、公民館活動に大きな功績を残されました藤本館長と異なり、浅学非才とてその器ではございませぬが、地区の皆様方の暖かい御協力と御支援をいただき、何とか二年の任期を全うしたいと思っております。何卒よろしく御願いたします。

さて、公民館活動に対して、取敢えず御協力をお願いしたい点を挙げてみたいと思っております。

一、地域づくりを目指して

一、積極的な参加を
今日殆んど家庭において、電気製品や自動車などに囲まれて大変便利な生活を、又テレビ等を通じて、日本の出来事のみならず、全世界の情勢を居ながらにして視ることができ

き、便利な時代になりましたが、反面、私達の生活が物質万能の風潮となり、道義がたい廢し、倫理は乱れ、青少年にも大きな影響を及ぼしてまいります。政治や経済が大きな転換期を迎えようとしている中で、私達の暮らしや子供達の教育をめぐる状況は、少なからず不安を招かずにはいられませぬ。子供達を健全に育て、未来に希望をたくわむような心と心が通い合った住よい豊かな地域づくりを目指して、地域の皆さんと共に考え、話し合ひ、その輪が広がっていくような、そんな活動ができればと絵を聞いています。

二、モラルと挨拶運動
その地域で学習が行えるかどうかというところは、その地域に生命力があるかどうかのバロメーターと言われます。どうか前向きな姿勢で、自分達のふる里づくりのために、公民館の主催する文化活動、体育活動、自治学級等に御協力下さい。

六月のある日曜日、旧制中学のクラス会のため京都へ日帰りしました。帰りが私一人となり、八十五歳の恩師をお連れして帰ることになりましたが、この日は大変な込みようで指定券、グリーン券も売切れ、仕方なく並んだが、座れそうだと期待していましたが、ドアが開いて順番に入りはじめたら、途中から要領よく割込む者がいる。やっとなら、途から生徒も大人も荷物を席に置いて、連れを待って座

らせない。荷物を取って明けてくれと頼んでもゆづろうとしなない。付添いの先生がいても指導もできない。係の駅員に頼んでやっと思師の席が確保できましたが、モラルの低さ、教育の貧困を改めて痛感しました。

由良地区では、挨拶運動をお願いしておりますが、「お早よう」、「今日は」、「お帰り」など、そんなこととお互いを知り、心と心が通うならば、お互い素直に受け入れられると思ひます。区民の心と心が通い合ひ、気持ちよ「ふる里」となるよう挨拶運動の徹底をお願いいたします。

退任あいさつ

藤本 秀雄

この度、由良公民館館長の職を退かしていただきました。主事で六年、館長で八年と由良公民館のお世話を受けていただきましたが、十四年もの長い間微力ながらも無事につとめさせていただきましたのは、これ偏に四方先生や平間主事を初め、役員の方々や区民のみなさまのご指導とご協力の賜りして、心から感謝申し上げます。ほんとうに有難うございました。

今後は、宮津市社会教育委員と公民館運営審議会委員として、公民館のために引き続き尽力したい心積りで、何卒相変りませ

すご指導賜りますようお願い申し上げます。公民館は社会教育のセンターです。公民館活動を通じて地区民の連帯を深めることも大事です。由良公民館が益々発展し、地区民一体となつて、明るくい住みよい由良の里づくりが出来ますよう祈念しまして、退任のあいさつといたします。

留任について

平間 克己

私の年齢と体調の限界を悟り、若い主事と交替することが肝要と思ひ引退することにした。一年間にわたり辞任することをお願いし、お聞き入れ戴いたことと思ひました。計らずも藤本館長の辞意堅く、優先され、小松館長の誕生となりました。不肖の私が、八ヶ年の長い間主事として勤続出来たのも、藤本館長の豊かな包容力と卓越された指導力のお蔭だと思ひます。有難く厚く御礼を申し上げます。

主事については、年齢的に限界を感じ、到底小松館長の御期待に副えないことを感じ、辞意を表明致しましたが、尚且つ留任の御要請黙し難く、就任することに決意致しました。今後は初めに帰り、一より出発の心で小松館長の手助けになればと思ひます。皆様方の御旧の御叱声、御援助を賜りますよう切にお願い申し上げます。留任の御挨拶と致します。

報告 (一)

主事 平間 克己

昭和六十年度運営審議会委員(順不同敬称略)

- 中西 嘉重郎 自治連合会長、茨野路自治会長
- 竹田 辰馬 脇自治会長
- 中西 孫兵衛 宮本自治会長、市議会議員
- 大森 隆幸 港自治会長
- 折田 九兵衛 下石浦自治会長
- 藤本 孝一 上石浦自治会長
- 山下 伊兵衛門 市議会議員
- 藤本 秀雄 前公民館長
- 荒田 昭三 由良小学校長
- 折田 益一 由良幼小育友会長
- 中西 忍 栗田中学校育友会副会長
- 小室 二三子 由良婦人会長
- 中西 文貴 由良老友会長
- 小西 敏也 由良子供会連絡協議会長

二本年度の事業

(一)公民館

- (1)成人式 一月十五日 該当者の確認、連絡及び当日の世話
 - (2)新生活運動 自治学級、あいさつ運動
 - (3)無形文化財保存 農閑期 太鼓・囃子・踊
- (二)文化部
- (1)公民館より 年三回(六月・十月・三月)
 - (2)座談会 年一回 由良を良くする会、あいさつ運動
 - (3)盆おどり 八月二十三日(五蘭盆)

(3)球技大会 八月十四日(雨天中止)

四部対抗

一般男子ソフトボール

(4)地区運動会

九月八日(日) 雨天の時は九月十五日(祭)

(5)第六回四部対抗男女バレーボール大会 二月三日(日)

(6)スポーツサークル(毎週)

使用会場 小学校体育館

卓球

月曜日

剣道

火曜日・金曜日

バドミントン

水曜日・土曜日

バレーボール

木曜日・日曜日

使用会場 小学校校庭

少年野球

土曜日(午後) 日曜日(午前)

OBの会(野球)

日曜日(午前)

青年野球クラブ

日曜日

陸上教室

日曜日

(7)部員(敬称略)

- 部長 岸田 剛
- 副部長 森本 松二
- 部員 石田 正敏、中西 隆光、田中 昭義、中西 英貴、大森 章弘、山田 博義、岸田 秀樹、酒本 ゆくの、中西 正代
- 兼剣道講師 小室 文雄、瀬野 吉也、北野 董



午後八時より午後十時まで
今年の特には多くの人の参加を願う

(4)第八回史跡めぐり 九月二十二日頃
出石方面 公民館関係者の研修

(5)文化祭

(A)工レク トーン・ピアノ演奏会(十月三日)

(B)作品展 十一月十七日(日) 婦人会と共催

(6)第五回地区囲碁大会 二月二日(日)

各地区より五名の選手出場

(7)図書購入と奨励

毎日貸出し。但し土曜日・日曜日は休館

(8)郷土史の研究と推進 毎月十日
歴史を語る会

(9)講演会 年一回

生涯教育の推進、暮らしを守る会

(10)部員(敬称略)

部長 小谷 一郎 副部長 中西 信好

部員 矢野 善記、奥野 彰、小松 賢輔

山口 正憲、中西 一義、千坂 宏

上田 泰司、野村 正和、小室 二三子

大森 経子

(三)体育部

(1)第二十回由良ヶ岳登山 四月二十九日

午前九時出発、午後二時下山

尚、雨天の時は五月三日とする。

(2)第五回団体対抗ソフトボール大会

六月二日(さなぶり)

午後一時より午後五時まで

報告 (二)

一、第二十回由良ヶ岳登山 四月二十九日(祭)

四方寿朗先生は毎年欠かさず登られて、二十回目である。又、先生に登って戴くので公民館も心強く安心出来ます。

藤本館長の挨拶と準備体操も終り、全員元気に出発する。

体育部長の岸田剛氏、副部長の森本松二氏が、トランシーパーで連絡しながら指導に当たる。

参加者の中には、当日の午前七時から公民館と連絡しながらの、宮津与謝がイルスカウト二十三名の団体参加(去年も参加)、又最近由良小学校を退職された黒田百合子先生は、可愛い教子から「先生と一緒に登ろう」との要望に応えられ、その師弟愛溢ふれる参加、更に西舞鶴、網野方面より新聞

を見ての参加。

尚、毎年如意寺の奥さんが登って虚空蔵さんの祠の清掃、お祭りをして戴いています。

参加人員 二百二十四名

二、第五回団体対抗ソフトボール大会

日時 六月二日(さなぶり) 午後一時

会場 由良小学校グラウンド

参加チーム 育友会、消防団、OB会、公民館、郵便局、信金、小松忠衛新館長の挨拶が始まる。前もって各団体の責任者と公民館との打ち合わせ

も空しく、選手揃わず止むなく公民館とOB会の合流チームと消防団と第一回戦、それに午後二時になれば選手が揃う郵便局と舞信の合流チームと育友会との試合となった。

第一回戦

公民館OB会 9-13 消防団

郵便局・舞信 6-15 育友会

三位決定戦

消防団 22-15 育友会

優勝戦

公民館OB会 5-12 郵便局・舞信

三由良バレーボールサークル(女子)連勝する

毎週木曜日、日曜日の猛練習を重ね、その成果が実り、去年十一月十一日、第二回市民バレーボール大会女子ブロックの優勝に引き続き、今年六月二日、手謝第七回婦人部結成バレーボール大会において、見事優勝。現在由良の里センターのホールに、二つのトロフィーが燦然と輝き、恰も由良女子バレーサークルを祝福する如く並んでいす。

四今年度の自治学級(由良の里センター)

(一)座談会 由良を良くする会(一般参加) 七月二十七日 午後一時

(二)市政懇談会(一般参加) 昭和六十一年二月頃

(三)同和教育 婦人会と共催

(四)青年団育成について 期日未定

(五)無形文化財保存会の推進の具体化

健康シリーズ

「やぶにらみの記」

①はじめに

四方寿朗

公民館から、「健康一口メモのようなもの」を連載で書け」と言われて、身の程をかえりみずお引受けした次第。宜しくおつきあい下さい。

この世で一番大切なものは、人間の命である。「人命は地球より重い」これが医療の大原則でもある。しかし諸般の事情で、この通りにならぬのが現実である。

また、古今東西を問わず、不老長寿は人類の夢であり、心身の健康は、人生の目的である。とさ言われる。これを直接助けるのが医学であり、医師の使命である。

昭和五十九年厚生省人口動態によると、死亡原因第一位が心臓、第二位脳卒中、第三位肺病、しかも、この三者で全死亡の六十二%を占めている。これらの病気の予防その他については、テレビや新聞の家庭欄を見てもらえば済むことだが、私がこの地で開業して二十七年、由良の皆さんの健康について私の考えを述べ、人命最優先の原則をばむ諸般の事情についておふれてみたい。自分の健康は自分の責任で守らねばならぬ。

三か月間を振り返って

由良駐在所 出口雅裕

一、初めての転勤で、全く訪れたこともない由良に着任いたしました。はや三か月が過ぎようとしています。

その間、皆様方から色々な御指導、御鞭撻を賜りまして本当に有難うございました。この紙上をおかりいたしました。御礼の言葉を述べさせていただきます。

さて、当地での私の所感であります。当初は交通の便が悪く、店舗も少なく、又早い時間に閉店になってしまふので、大変不便を感じていました。

結論的には、慣れましてしまえばそういった環境にうまく適応していけるようですが、今まで三十年間ほど住んでいた実家(大阪)でのライフスタイルへ少し大袈裟な表現かも知れませんが、他に言葉を見い出せませんのであーからす。を、実際短期間で変えてしまふのは、私にとって困難なことなのです。

ところが、私は今までそんな当地での日常生活に、デメリットの面ばかり目についていたのですが、最近になって、スモッグなどが皆無で空気がきれいなこと、水が澄んでいることなど、自然に満ちあふれているという事実を考えてみれば、この由良に

居住するということとは貴重なことかも知れないし、また、由良の人々と同じ生活圏で生活するということとは、自分自身の体験として、大変有意義なことだと思ふようになりました。

ですから、この由良の良さをひとつ見つけて、充実した生活を送ってゆきたいと思つていきます。

二、この三か月間、当駐在所で取扱った主な事件を簡単に報告しますと、交通死亡事故二件、車上ねらい等の被害届六件、おめぐと二件、国鉄線路に対する置石等三件でした。

これから夏に向って、交通量が倍増するものと思われれますが、防衛運転に心掛けるようお願いします。

手謝家庭婦人バレーに優勝して

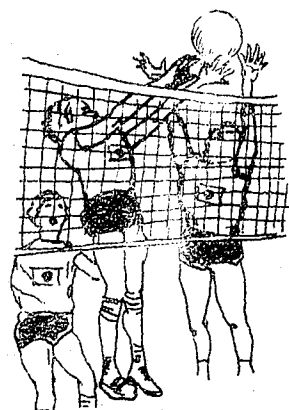
由良バレーサークル

今回の出場は、人員不足で九人ぎりぎりでした。足を痛めて出られなくなったり、地区の行争が重なり思ふように人が集まらなくて召集かけた人も大変だったと思ひます。それに加えて補欠なし、コーチなしと、ないない

試合は、A、B、Cクラスに分れて、私達の出したのは、Cクラスでした。出た時は、優勝するなんて思っても見なかったけれど、出まみても皆あがることもなく、冷静にプレーでき、また、二本サーブだったのが優勝につながったように思いました。また、他チームを親戦して、自分のところにはない雰囲気もあり、「人の振りみて我振り直せ」で、いろいろ感じることもありました。もっと余分なことでは、若い人もおられたけど、死んだが中年に近しい人ばかりで、ショートパンツからはみ出た太い足とお尻の肉、静脈が浮き出て、みみずのようになっていて、おなかのぜい肉のシルエット等、動くたびに肉と肉がダンスして、重さからくる床のハーモニイ・ママさんバレエでないとかなが見られるものではないかもしれません。宮津市には、専用の体育館がないばかりに、小学校・中学校の体育館も踏みつぶされてばかりで可愛相です。私達の子供の頃と違って、生活レベルもか

プレイヤー	ポジション
1 新井	トライト
2 井野	トライト
3 井野	トライト
4 井野	トライト
5 井野	トライト
6 井野	トライト
7 井野	トライト
8 井野	トライト
9 井野	トライト

なりアップしてきています。豊富な食生活、栄養過多による肥満、病氣、糖尿、心臓、高血圧、右記のことが全てではありませんが、関連はあります。昔から「病は氣から、老いは足から」といいます。家に引込もっていても、何なりません。自分の好きなスポーツを見つけて、地域又はグループに参加することは、大変意義のあることだと思います。勝つことばかりが目的ではないのですが、試合にまで出られるというパワー、チームワークで、これからも頑張ってください。



「あとで「よりいまが」
大切 火の始末
宮津市消防団由良分団

追悼

由良公民館

元公民館文化部長中西英夫氏は、去る四月二十六日午後八時、由良駅に向う途中事故に会われ、頭蓋内出血により、御家族の切なる願いも空しく、齢五十を境とし、卒然永眠されました。此処に謹んで哀悼の意を表します。省みますれば、故中西英夫氏は、公民館幹事として二十有余年の永きに渡り奉仕されました。又その間文化部長として公民館だよりをはじめ、公民館の諸事業の改良等、よく助言し、的確に真相を突き、その核心にふれ、公民館の発展のため貢献して戴きました。齢未だ春秋に富み、外柔内剛、内に秘めた強い信念、それが実力となり発揮されようとする矢先、幽冥境を異にするとは、生者必滅は世のならいとはいえず、運命の無情さに心の痛む思いが致します。運命の無情さに心の痛む思いが致します。眠り安からんことを祈り、お別れと致します。



夏です
水のシーズンです
水の事故から
子供を
守りましょう

毎月十二日は宮津線に乗る日
宮津線は
危機に直面しています
乗って守ろう 宮津線

